

基本政策 2 社会(地域)参加できる

【基本政策の方向性】

高齢になっても健康を維持し、充実した日々を送るため、社会参加や活動ができる自分の居場所を見つけ、いつまでも地域とつながりを持ち、社会（地域）参加できる“まち”を目指します。

5年後の目指す姿

「社会（地域）活動への参加率上昇」

現在どのような社会（地域）活動があるのかを知るとともに、多様なニーズに合った活躍できる場がこれまで以上に増えることで、社会（地域）活動の参加意欲を醸成します。

【数値目標】	現状値	目標値
社会（地域）活動への参加率 （介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）	65.0%（R1）	⇒ 75.0%（R7）

基本施策

2-1 対象者へのアプローチ（人）

多種多様なニーズを把握し、効果的に各種活動を周知することで、どのような社会（地域）活動があるのかを知ってもらい、移動手段も含め、活動に参加しやすい環境づくりを目指します。

【KPI】	現状値	目標値
社会（地域）活動の認知率 （介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）	—	⇒ 現状より+20%（R7）

【主な取組】 定年退職後の地域デビュー支援

定年退職後の地域デビューを支援するため、地域自主活動グループの育成など、アクティブシニア¹の活躍に資する取組を推進します。

【KSF】	現状値	目標値
アクティブシニアの参加者数	—	⇒ 現状より+10%（R7）

¹ 仕事・趣味などに意欲的で、健康意識が高い傾向にある活発な高齢者

2-2 多様な活躍の機会の創出（場所）

多種多様なニーズに対応できる活動・活躍できる場所を拡充していくため、地域や施設などにおいて活動・活躍する機会の創出を目指します。

【KPI】	現状値	目標値
社会（地域）活動の認知率 （介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）	—	⇒ 現状より+20%（R7）

【主な取組】 担い手不足解消に向けた取組み

現役世代の減少による担い手不足解消に向け、介護事業所などで就労する際に役立つ「介護のお仕事入門研修」を開催し、修了者の就労を目指します。

【KSF】	現状値	目標値
介護のお仕事入門研修修了者の就労数	0 人（R1）	⇒ 10 人（R7）

2-3 地域へ活力の還元の仕組みづくり（活用）

社会参加する方を増やすとともに、社会が高齢者を必要とする環境を整え、これまで培った知識・経験・技能を社会に還元できる仕組みの構築を目指します。

【KPI】	現状値	目標値
地域で活躍している高齢者の割合 （介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）	—	⇒ 現状より+20%（R7）

【主な取組】 マンパワーの還元の仕組みづくり

ボランティアやシルバー人材センターの会員登録者数を増やすなど、意欲ある高齢者と地域のニーズを結びつけ、地域社会で活躍する高齢者を増やす取組を進めます。

【KSF】	現状値	目標値
介護支援ボランティアポイント事業 ² の登録者数	245 人（R1）	⇒ 360 人（R7）

関連する SDG s ゴール



社会（地域）活動への参加により、あらゆる人々の活躍を推進し、誰もが活躍できる社会の実現を目指します。 関連ターゲット（8-5）



様々なパートナーシップを推進し、社会参加に向けて協力することで、活躍の場を増やしていきます。 関連ターゲット（17-17）

関連計画等

第 8 期富士見市高齢者保健福祉計画（令和 3 年度～令和 5 年度）

関連部署

市民生活部 保険年金課

健康福祉部 高齢者福祉課、健康増進センター

² 65 歳以上の方が登録し、「介護支援ボランティア」として、市が指定する介護保険施設等でボランティアとして活躍する事業